

● <劇団きらきら児童部定期公演>
満員御礼！「11ぴきのねこ」
代表田中さんインタビュー



1月8日（日）、志免町シーメイト大ホールにて劇団きらきら児童部定期公演がありました。「障害のある子もない子と共に演劇を！」と活動している劇団きらきら。代表の田中さんにお話を伺いました。

●「11ぴきのねこ」出演メンバーは？

公演は4回目。今回は児童部が少ないこともあり、役にも青年部メンバーが入って公演しました。普段は青年部（児童部卒の団員やプロの劇団員）と、主に児童部（小学生・中学生）に分かれています。

●作品をつくるにあたって

著作権のある劇作家さんから脚本の使用・変更の許可をもらい、劇団向けに内容を変えています。子どもたちを思い浮かべながら、脚本をつくるのはいつも楽しいです。また、歌と音楽は、志免町在住の音楽家・岩上さんによるオリジナルです。セットや、衣装、小道具もなるべくお金をかけず、お母さんたちみんなで手作りしています。

●当日は満席。お客さんは？

午前の部 220人、午後の部 139人でした。今回は作品自体に知名度があり、小さな子どもたちが多い印象でした。「今度幼稚園の劇ですので見に来ました！」という親子連れもいました。

●演じている子どもたちにやる気と自信を感じました。どんな変化がありましたか？

作品の制作には、児童部で半年、青年部で約1年をかけて作りこみます。

子どもたちは、練習中に泣いたり、「もうやらない！」と言ったり。それでも、だんだんとできることが増えていく。初めは一人で舞台に出ていけなかった子が、2回、3回と回を重ねて誰の手も借りず舞台に出ていくようになります。心を込めて演じることができるようになります。

子どもたちがステージで演じ、それぞれが力を発揮する姿を見ていると、練習の風景が走馬灯のように頭の中を巡ります。「次もしよう！」という気持ちも新たにします。

●インタビューを終えて

準備や稽古のエピソードを思い出しながらたくさんお話いただきました。本番で子どもたちの成長を見ることを楽しみに、一人一人のこどもと向き合いながら活動されている田中さんのあたたかい情熱を感じました。「劇団きらきら」ではメンバー募集中！（特に小学2～4年生）

●協働事業提案制度の募集が始まります。

平成28年も「協働事業提案制度」の受付が2月1日より、始まります。これは、行政と住民団体がパートナーを組んで志免町の課題を解決するためのしくみです。2月10日（水）には、この制度の説明会&応募対策講座を開催します。詳細はまちづくり支援室までお問い合わせください。

●事例から協働事業のイメージをつかもう！

平成27年度協働事業提案制度採択事業
「地域で子育て応援事業」（子育て支援課・志免子育て支援コミュニティおおきな木）

■ポイント1. 課題・目的・目標を共有

この事業では、「町の子育て支援施策において、（1）ソフト面のアプローチ不足（2）地域ぐるみの子育て活動の不足」を共通の課題ととらえ、「子育てについて学びあう場やきっかけを提供し、地域ぐるみで子どもを育てる環境を整えること」を目的にしています。

課題や目的を町と団体が共有しているので、

「講演会の開催」「プレーパークの開催」「公民館での交流会」など、認識の違いを防いだ質の高い活動をすることができました。

■ポイント2. 役割分担を明確に！

なぜ協働が必要なのか？それは、自分たちだけでは解決できない課題でも、相手と組むことで解決できることがあるからです。団体と町、それぞれの得意なことと苦手なところを整理して、それぞれの力が発揮できる役割分担をしましょう。

◎活動の経験豊富な「おおきな木」の役割・・・事業の計画立案、当日の運営、団体の持つ資源を使つての参加者募集など

◎専門職員を抱え、町内会と連携しやすい「子育て支援課」の役割・・・保育士の出動、町内会との調整、広報や会場の手続きなど

また、異なる主体が対等な立場で事業を進めていくには情報共有や振り返りも重要です。互いの強みを活かし、町の課題解決に繋げましょう。

●<企画運営協力：Team 前向き> ともにともそうプロジェクト「希望の光」点灯



11月21日（土）、志免町のシンボルツリー「メタセコイア」の点灯式が行われました。このプロジェクトは、炭鉱の歴史を支えたこの木に「希望の光」を灯すことで志免町の元気を願うイベントです。

2回目の今年は、志免町とTeam前向きの協働で開催しました。Team前向きのネットワークを活かし、多くのボランティア、出演者・出店者の協力を得ることができました。会場はイルミネーションに加え、手作りの灯ろうであたたかな光に包まれました。来年1月17日まで夜間に点灯します。

■登録団体イベント情報！！

▼まじくるつどい場'たからちゃん'

超高齢化社会がやってくる！！介護する人、される人を中心に医療や介護にかかわる人たちが立場を超えて“まじくり”ながら、介護は一人でするものではないよ！楽しみながら笑顔が見える介護だってあるはず・・・をみんなで探ります。「快護」を目指して。

■日時：平成28年1月10日（日）10時～15時
（※毎月第2日曜日）

■場所：デイホームたから

■対象：地域住民の方々

■募集：15名

■主催：NPO法人ウェルフェアだんだん
デイホームたから

メール：dandantakara@yahoo.co.jp

▼男の料理教室

毎年開催している、初心者向けの料理教室です。男性だけなので気軽に参加できます。博多の伝統食「がめ煮」を中心とした、家庭でも作りやすい献立を用意しています。料理が初めての方も、お気軽にご参加ください。（要予約）

■日時：平成28年1月23日（土）10時～13時

■場所：志免町生涯学習2号館 調理室

■対象：料理初心者の男性

■募集：16名

■参加費：500円

■持ち物：エプロン、三角巾、ハンドタオル

■主催：きらりしめ

（志免町男女共同参画地域づくりの会）

■問い合わせ：志免町生涯学習1号館
092-935-1003

▼志免の未来を語ろう「68カフェ」

志免町の住民同士で語り合う「68カフェ」を開催します。今回は、十時裕氏（福岡市地域活動アドバイザー）を進行役にお招きして、前回関心の高かった「コミュニティと高齢者」をテーマに話し、住民が主体のまちづくりを目指します。

■日時：平成28年1月24日（日）

10：00～12：30

■場所：シーメイトホール

■対象：志免町の未来に関心がある方はどなたでも！

■募集：60名

■参加費：300円（飲み物含む）

■締切：1月15日（金）

■問い合わせ：090-4514-3209（川崎）

▼しめ活（終活）第4期

“超高齢社会の中でも住民同士がお互いに支え合って、豊かで安心して暮らすことができる地域社会をつくる”を理念に、しめ活（終活）講座を開催し、逝き方から生き方を学び活動できる人材と活動の居場所を創造して行きます。

■日時：平成28年1月30日（土）～3月12日（土）

■場所：生涯学習館1号館2階

■対象：志免を愛する住民の方

■募集：30名

■問い合わせ：092-986-8526（財部）